



ゆのはな

すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現

第24号
2023年7月
BRCだより

回復期リハビリテーション病棟 看護・介護課課長 ご挨拶

回復期リハビリテーション病棟では、急性期治療を終えた脳血管疾患や整形疾患の方を対象に、患者様の自立支援という共通の目標に向かって、チームアプローチに取り組んでいます。

チームアプローチにおいて、看護師・介護福祉士には、患者様が安全・快適に入院生活を送れるよう心身のケアを担う役割があります。

看護師は患者様が効果的なリハビリに取り組むための健康管理を行い、家庭復帰後も

継続できるよう支援しています。介護福祉士は日常生活上の介助を行い、自立につながるよう工夫し支援しています。

患者様への支援においては、看護師・介護福祉士としての確かな知識・技術・態度は欠かせません。また、患者様ご家族の心に寄り添える感性が大切です。

今後も、専門職として、より質の高いケアを追求し、向上できるよう取り組んでまいります。



A棟 看護・介護課課長
山本ゆみ子

令和4年4月より看護・介護部の病棟課長として勤務し1年が経過しました。当病棟はプライマリーナーシングで自立への支援、精神面へのサポートなど継続看護を提供しています。

患者様が365日リハビリに参加できるように私たち看護師は毎日体調管理を行っています。患者様が真剣にリハビリに取り組む姿を見るたびに私たちは元気をもらっています。

日々多職種と協働しながら、病棟スタッフも

日常生活を通して在宅復帰につながるように連携を図っています。また、安心して在宅生活を送れるように患者様ご家族の不安の軽減を図り一人ひとりのニーズに合わせた退院支援を行っています。

患者様一人ひとりに寄り添った看護・介護を提供するためにも、引き続き看護力の向上に努めていきたいと考えております。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



B棟 看護・介護課課長
赤山 亜紀

〔 第24号 目次 〕

- 表紙 看護・介護課課長挨拶
- 2頁 法人創立50周年記念
- 3頁 高橋医師就任のご挨拶、病棟イベント紹介
- 4頁 福祉用具紹介、大分県理学療法士学会表彰



ANNIVERSARY

おかげさまで
別府リハビリテーションセンターは

創立50周年を迎えました!



現在の建物全景

1973年、別府リハビリテーションセンターは、交通事故による障がいを持ち支援が必要な方の、社会復帰を支援するために設立されました。現在は、障がいを持つ方々の自立と社会参加を応援するために、病院部門においては、以下のような事業を展開してきました。

<回復期リハビリテーション病棟>

急性期治療を終えた方に、多職種チームによる集中的なリハビリテーションを提供しています。

<外来リハビリテーション>

回復期リハビリテーション病棟や急性期病院を退院された方に、専門外来と連携したリハビリテーションを提供しています。

また、入院から外来通院を通じて、最新の設備やプログラムを導入し、多職種の専門チームによる質の高いリハビリテーションを提供しています。



旧リハビリテーション室



旧自動車訓練場

この度、当センターは創立50周年を迎えることができました。これもひとえに、利用者の皆様、ご家族の皆様、関係機関の皆様、地域の皆様、そして職員の皆様の皆様のご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

別府リハビリテーションセンターでは、すべての人が住み慣れた地域で自分らしく生きることができ、社会を目指して、障がいを持つ方々の自立と社会参加に向けて、多職種で連携を図りながら支援してまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

自動車運転評価をおこなう
自動車運転コース



法人創立50周年
記念特設ページ
2023年7月21日～

ご本人・ご家族と医療スタッフによる
合同面接の様子



回復期リハビリテーション病棟行事

～ カフェ・絵手紙編 ～



食堂からの眺めは、別府湾を一望でき最高の眺めです。素晴らしい景色を見ながらの紅茶・コーヒーに「ほっと一息」「心が落ち着く」と、とても好評です。

海を眺めてのカフェ

病棟では毎月様々な行事を行っています。体操やゲーム、釣りなど。特に人気があるのは食堂で開催されるカフェです。本格的にコーヒー豆から淹れています。廊下までいい香りに包まれて、開始時間前から来られる方も・・・



一筆一筆丁寧に!

絵手紙では水彩絵の具を使用して作成します。初めて挑戦される方は不安そうですが、見本もあり、いざ塗り始めると皆さん集中して塗り上げて行きます。



完成した絵手紙

完成した絵手紙には家族に向けて一言コメントを書かれたり・・・綺麗な出来栄にスタッフもびっくりです。

新着任医師のご紹介

診療部 医師 高橋 健



皆さまこんにちは。令和5年4月1日から別府リハビリテーションセンターに赴任しました。医師の高橋健と申します。よろしくお願いいたします。

出身は山口県下関市で、紆余曲折して医師になり現在に至っています。

昨年度までは、急性期病院で救急患者さんの対応をしていました。いままでは病気を治すことだけしかかわってきませんでした。

この度、別府リハビリテーションセンターの回復期リハビリテーション病棟に配属されたことにより、少し立場を変えて、今度は病気が落ち着いた後に患者さんが社

会生活に戻るお手伝いができればと思っています。

窓からは青い空と一面の新緑、遠くに別府湾をみおろせ、あちこちから温泉の湯気が立ち上っています。素晴らしい眺望に毎日気分が晴れやかになります。

豊かな自然に囲まれた広大な敷地、ゆったりとしたスペースを持つ施設、スタッフや設備も十分に整っており、リハビリにも働くにもとても良い環境と感じています。知らないことが多いので、毎日学ぶことばかりですが、少しでもお役に立てればと思っています。

とりあえず心がけていることは、『毎日笑顔を決やさないこと!』頑張ります。

福祉用具紹介

浴室で活躍する福祉用具を2点紹介いたします！

シャワーチェア

- ① 肘置きは開閉式で洗う際は邪魔になりません。ホームセンターなどにも売っているため入手しやすいです。
- ② 高さ調整が可能で立ちやすくなっているものもあります！



※ シャワーチェアは種類が多いため、購入の際は販売元と相談することを勧めます。

浴槽手すり(取り付け用)



浴槽縁に噛ませて使用します。
立ってお風呂を跨ぐ際に把持します。
取り外しができるため、
ご家族が使用する際は邪魔になりません！



※ 商品によって設置のための適合サイズがあります。
購入する際は販売元に確認をしてください。

第25回 大分県理学療法士学会

フレッシュマンセッション部門において

「優秀賞」を受賞しました！



理学療法士
坂口 遼馬

令和5年2月に開催された第25回大分県理学療法士学会のフレッシュマンセッション部門にて、数ある演題の中からリハビリテーション部の坂口遼馬さんが優秀賞を受賞されました。

発表内容は歩行機能や注意機能に改善を認めた脳卒中患者の症例報告でした。

受賞した坂口さんは『この度は、

このような賞を受賞でき、大変光栄です。今後も高次脳機能障害に対するアプローチをより深めていけるように努めます。』と話していました。

臨床での取り組み成果が認められ、非常に素晴らしいです。これからも患者さんのために、日々研鑽される事を期待しています。この度は本当におめでとうございます。

社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

日本医療機能評価機構認定病院 / 日本リハビリテーション医学会認定研修施設



製作：回復期リハビリテーション病棟
医療サービス向上委員会

〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10
TEL:0977-67-1711 FAX:0977-67-1712
URL:<https://brc.or.jp>

